

■ 横田基地所属のオスプレイ 青森で爆音をまき散らす被害

漁業への深刻な影響。
米国でできない訓練は、日本でも許されない。

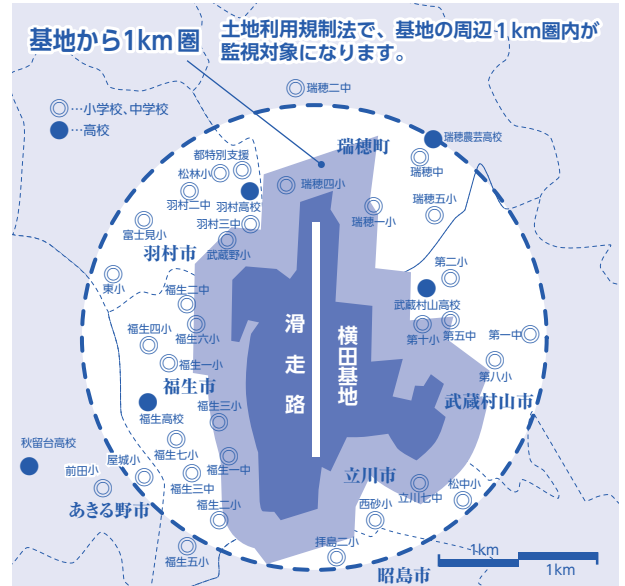
青森県三沢市などにまたがる小川原（おがわら）湖で、横田基地所属のオスプレイが湖面すれすれで救難訓練を繰り返し、地元住民・漁業関係者に被害を及ぼしています。

訓練は、オスプレイがホバリング（空中停止）しながら兵士をロープでつり上げるもので、爆音と水しぶきをあげるため、地元のワカサギ漁などへの影響は深刻です。穏やかな湖を午後5時すぎから2時間にわたり占有して、我が物顔で訓練するという異常な事態です。



■ 東京・横田基地のオスプレイ 基地周辺には学校37校

5市1町51万人の密集地で訓練
パラシュート降下は沖縄以上の規模・回数



人口密集地で訓練を繰り返す米軍。横田基地ではさらに無人偵察機グローバルホーク配備や新たな司令所・航空宇宙戦略センター設置の準備が進められています。すでに事故や被害は深刻。「基地もオスプレイもなくせ」が住民の強い願いです。

東京の空を米軍が支配

米軍機 都心低空飛行が続発

毎日新聞による報道で、横田基地と麻布米軍ヘリ基地（港区六本木）を結び都心上空で、米軍ヘリによる異常な低空飛行が日常化している実態が明らかになりました。新宿駅周辺のビルの間を縫うように、航空法に違反する高度200mほどで飛ぶなど、一歩間違えば大事故になる低空飛行を繰り返しています。

東京23区を含む首都圏上空には、米軍最優先の「横田空域」が勝手に設定され、日本の航空機はここを米軍の許可なしに飛べないことから、東京上空は過密になっています。このような都心低空飛行を繰り返すのはあまりに横暴です。

自由で安全な東京の空を取り戻すため、日米地位協定を見直して米軍に日本の法律を守らせることが、まず必要です。

